

議長 局長 補佐 係




平成28年 7月28日

鹿追町議会議長 埴 渕 賢 治 様

環境技術研究会

代表 畑 久 雄 

平成28年度政務活動費に係る調査及び収支報告について

鹿追町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、
下記のとおり平成28年度政務活動費調査及び収支報告を提出します。

記

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1 | 政務活動費調査報告書 | 別紙1 |
| 2 | 政務活動費収支報告書 | 別紙2 |
| 3 | 会派出席者名 | 畑 久 雄、狩 野 正 雄 |

- 1 調査期日 平成28年6月28(火)～30日(木) 2泊3日

- 2 調査目的 特色ある地域づくりを主眼に現状と課題を調査

- 3 調査項目 (1) 観光産業振興議員連盟の取り組みについて
(長野県上田市議会)
(2) 自然エネルギーの開発と利用方法、
小水力発電・メタン精製設備
(長野県上田市)
(3) ワイナリー、レストラン、産地直売所の連携
(長野県松本市)

- 4 調査場所 (1) 長野県上田市 上田市議会
(2) 長野県上田市 上田市役所
(3) 長野県松本市 山辺ワイナリー

- 5 調査結果及び6所感及び提言(活用策・活性策)

別紙のとおり

5.調査結果

(1) 観光産業振興議員連盟の取り組みについて（長野県上田市議会）

上田市は丸子町、真田町、武石町、上田市が合併して10年となる。それぞれ旧市町村の宝を最大限活かすことで、地域産業や観光の振興で地域活性化に挑戦していた。大河ドラマ「真田丸」の放送もあり、市内はとても賑わいを見せていた。

真田地区は全国一のラクビー合宿のメッカ、丸子地区、武石地区は別所温泉、鹿教湯温泉、霊泉寺温泉、古寺名刹等の文化財を組み合わせ、観光客の誘致に地域一丸で取り組み、交通アクセスも新幹線、高速道路も整備され、通過型か滞在型の観光になっている。

案内パンフレットは利用者の視点から利便性を重視、またおもてなしに議員の発案で陣羽織を製作して着る等、歴史の息遣いを伝える工夫をしている。

議会、行政、民間事業者、地域が一体となったことで、高齢者等が車の誘導、観光の案内で元気に活躍している。

上田市議会観光産業振興議員連盟を結成、行政視察パックを開発して全国の地方自治体議会に対し、特色ある市の取り組みを視察していただき、4～5人で一グループをつくり、視察の対応にあたる。地元議員が選ぶ特色ある施策を洗い出し、全国1,900議会へ案内状送付した。

(2) 自然エネルギーの開発と利用方法、小水力発電・メタン精製設備 （長野県上田市）

約16万人の人口を要する上田市では、千曲川、菅平ダムから取水し、その一部を高低差34メートル、道水管500メートルでの小水力発電を行い平成27年度売電額1,600万円、年間の発電量は一般家庭120世帯分に相当する。

公共下水道施設では、数ある処理場のうち、上田終末処理場を視察した。

供給開始は昭和47年7月、処理方法は標準活性汚泥法により行われ、計画処理人口62,000人である。

メタンガスの精製、焼却灰は再利用等先進的な取り組みをしている。

下水道処理施設普及率99.4%、水洗化率92.8%となっている。

(3) ワイナリー、レストラン、産地直売所の連携（長野県松本市）

松本市東に位置する山辺地区、近年葡萄栽培農家の増加でJAと葡萄農家で、美ヶ原高原の沿道に道の駅を設置、ワインの醸造工場、レストラン、野菜や加工食品などの販売。JA51%農家が49%の出資での経営体である。

6 所感及び提言

(1) 観光産業振興議員連盟の取り組みについて（長野県上田市議会）

〔畑 久雄〕

テレビドラマ「真田丸」が始まる1年前より、議会、事業者等町全体が一丸となり、この期をチャンスとして捉え、観光産業振興議員連盟を立ち上げた。

色々な町の魅力を掘り出し、それらにガイド（案内）をつける徹底した内容であり、わが町でもこの手法で、様々な角度から観光、見る、食べる、遊ぶ、学ぶ等から魅力を掘り出し、自らの手で考え、それらを広めること。また来訪される条件として、宿泊か食事をしていただくことを付け加えたい。

然別湖、景色、田園風景、酪農、地域産品、バイオ発電、教育、文化活動、淡水魚、ジオパーク等自慢と言えるものを掘り起こし、広くPRすべきである。

〔狩野 正雄〕

○地場産業や観光の振興において、担い手となる人材をどうやって確保するのが重要である。そのためには安心して働くことのできる場が必要である。

○上田市においては温泉や古寺、城、美術館等の文化財を組み合わせ観光振興を進めていた。本町には然別湖温泉、かんの温泉、山田温泉や神田日勝美術館、福原美術館、ミネルバ美術館がありこれを核とする事で、健康増進、保養、文化芸術で連携したヘルスツーリズム、ミュージアムツーリズム等の企画を試みてはどうか。

○本町はバイオガス利活用の先進地として、行政視察パックの事例を参考にしながら、バイオガスプラントの仕組みや利活用方法など見学できる常設のコースを設定し全国に発信してはどうか。

(2) 自然エネルギーの開発と利用方法、小水力発電・メタン精製設備

（長野県上田市）

〔畑 久雄、狩野 正雄〕

小水力発電力は土地の高低さを利用しての水力発電であり、わが町にもこの方法で、かんの温泉、山田温泉等水のあるところが候補地となり、水量、規模等は千差万別であるが、太陽光、風力に続く方法と考える。

さらにこのエネルギーについて勉強したい。

(3) ワイナリー、レストラン、産地直売所の連携（長野県松本市）

〔畑 久雄〕

農業者、地域、J Aが共に取り組んでの事業で、その出資比率はJ Aが51%、地域農業者が49%となっており、今後わが町における道の駅に関しても、大いにJ Aの協力を得る事を望みたい。

〔狩野 正雄〕

道の駅直売所において、農畜産物等がどのようにして生産・加工されているのか説明できるように、役職員の教育研修が必要である。同時に地元の生産者団体である農協の支援協力は欠かせない。

上田市役所で議会観光産業振興議員連盟の出迎え



観議連三井議員より説明を受ける

上田市下水道課でメタン精製設備とガス利用を研修



松井課長 山崎係長 高寺職員

ガス発生装置



ガス精製プラント



上田市浄水管理センターで小水力発電を研修



61Kwを発電する染屋小水力発電所



地下ピットに設置した発電機



松本市山辺ワイナリー（JAと地元農家の出資）



丘陵地のぶどう畑で栽培方法の説明を受ける



小林場長より醸造設備の説明



ワイナリー併設の農産物直売所



直売所で買い物客に話しを伺う